



人が育ち・組織が輝くために “職場研修”をすすめよう

採用した人材をいかに育成するかは、全ての組織に共通したテーマである。特に、福祉サービスのニーズが増大し、求められるサービスも複雑化する福祉分野では、質・量の両面で人材の確保が課題であるが、育成の体制が整っていれば職員の定着も自ずと進む。

今号の特集では、社会福祉法人や事業所が、求める人材像を明確にし、主体的に人材育成に取り組むための「職場研修」の意義を考えるとともに、福祉人材研修センターが実施する「職場研修アドバイザー事業」について紹介する。



職場研修とは

「福祉は人なり」と言われるが、福祉人材の育成は、法人・事業所にとって永遠の課題である。

人材育成と言えば、外部研修に職員を派遣するOFF・JT※1を思い浮かべるが、ここで話題にする「職場研修」とは、人材育成のための活動全体を広く指す概念である。具体的には、各法人・事業所の理念を基盤において、計画的に人材の育成に取り組む活動であり、例えば、職場内の学習会や業務ミーティングでの助言などまで含まれる。このように、職員の育ちを意識した、職場内外で行われる日常的な職員への働きかけを、広く職場研修として捉えることができる。

職場研修アドバイザーによる職場研修への支援

福祉人材研修センターでは、平成25年度より「職場研修アドバイザー」

事業（以下、「アドバイザー事業」）に取り組んでいる。

これは、法人・事業所の人材育成を支援するため、アドバイザーを派遣し、「職場研修」の仕組みを一緒に作り出す取り組みで、アドバイザー事業のポイントと支援の概要は次のとおりである。

①求められる「職員像」の明確化
職場研修のポイントの一つは、求められる「職員像」を明確にすることである。新人・中堅・管理職など各階層に求められる役割や職員像を整理して、職員に明示することが職場研修を進める第一歩となる。

②計画に位置つけた取り組み
法人・事業所が過去に実行した人材育成の取り組みを振り返った上で、改めて職場研修の計画を策定することが重要となる。

人材育成は一時的な取り組みで終わることはない。「気づき」を反映させ、継続的に見直し

していくものである。そして、その計画自体を「職員」の参加と「協働」によってつくることもポイントである。

③ マネジメント力による職場づくり

一方的サービス提供になりがちな体制から、利用者主体のサポートへと支援の考え方が転換する現在、多職種連携とチームアプローチによって仕事を進めることがより重要となっている。このことから、チームをまとめるリーダーの「マネジメント力」が職場研修の重要なポイントとなる。

アドバイザー事業は、これらのポイントを踏まえた職場研修が構築されるよう、継続的に複数回にわたって、アドバイザーが法人・事業所を訪問している。その際、職場研修の担当者やリーダー層とともに、図1に示すようなテーマのワークショップを通して職場研修の意義を考えながら、OJT※2・OFF・JT・SDS※3を組み合わせた研修計画づくりを目指している。

【図1】 職場研修の構築に向けたプログラム(例)

- 第1回 福祉施設における人材育成・職場環境
- 第2回 人材育成と職場研修の意味
- 第3回 求められる職員像の描き方
- 第4回 研修計画の立て方
- 第5回 OJT研修の考え方と方法
- 第6回 PDCAサイクルと要点
- 第7回 施設実践における理念・方針の意義とリーダーの役割

全ての法人・事業所で 職場研修の取り組みを

平成30年度、アドバイザーは県内27法人・事業所、計102回の訪問を重ねた。訪問回数は、事業が開始した平成25年度の4倍に増え、法人・事業所の関心の高まりと、継続的な訪問による関わりが結果に表れている。

アドバイザー事業を活用したことで、職場研修の見直しや研修計画策定に向けた具体的な実践に結び

付けた法人・事業所からは、「職員像をしっかりと固めることで、より良い支援ができると思う」「OJTリーダーになるための研修が必要だと理解できた」「新人職員を指導する立場として振り返ると、気づきを与え与えられることの責任を感じた」などの声が寄せられている。

アドバイザー事業の主役はあくまでも法人・事業所の役員及び職員である。法人・事業所の声からは、職場研修への取り組みが、一人一人を育て、組織に良い変化をもたらしていることがうかがえる。

職場研修をつくる過程が「職員の成長」に、そして自分たちでつくった職場研修の実践が「魅力ある職場



自分たちに必要な研修などを、職員がワークショップで検討

づくり」につながる。

職員を大切に育む職場研修が、どの法人・事業所でも実施されることが期待される。

※1(Off-the-job Training) 職務命令により、一定期間日常の職務を離れて行う研修

※2(On-the-job Training) 職場の上司(先輩)が職務を通じて、または職務と関連させながら部下(後輩)を指導・育成する研修

※3(Self-Development System) 職員の職場内外での自主的な自己啓発活動を職場として認知し、経済的・時間的な援助や施設の提供などを行うもの

職場研修アドバイザー事業をご活用ください!

アドバイザーの派遣は、県内全域を対象とし、費用も原則として無料です。ぜひ積極的に事業をご活用ください。

問い合わせ先 福祉人材研修センター TEL 078-367-3001

◆ 職場研修を効果的に実施するための手引書をホームページに掲載しています。

<https://www.hfkensyu.com/shien/>

◆ 当センターが開催する研修の開催案内は、順次ホームページに掲載しています。

<https://www.hfkensyu.com/>